

氏名	山口純哉	欧文名	YAMAGUCHI, Junya
所属講座	地域・経済政策講座		
職名	講師		
主要な学歴および職歴	(1) 龍谷大学経済学部卒業 (1994) (2) 神戸商科大学大学院経済学研究科修士課程修了 (1997) (3) 神戸商科大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学(2000) (4) 長崎大学経済学部講師 (2000)		
学位	(1) 修士 (経済学) (神戸商科大学大学, 1997)		
平成13年度担当科目 (学部)	(1) 地域経済論 (昼間主) (2) 地域経済論 (夜間主) (3) 専門演習「地域経済学」(4) 卒研演習「地域経済学」 (5) 入門ゼミ		
平成13年度担当科目 (大学院)			
専門分野	(1) 地域経済学 (2) 産業集積論		
所属学会・協会	(1) 日本経済政策学会 (2) 日本中小企業学会 (3) 日本地域経済学会 (4) 経済学教育学会		
現在の研究テーマ	(1) 地域経済における産業集積の存在意義 (2) 集積の利益と環境変化		
学会・社会における活動	(1) 岸和田市産業振興ビジョン策定調査委員会委員 (1999～2001) (2) 美津島町 (対馬) リゾート開発審議会委員 (2000～2002) (3) 繊維中小事業者人材資質向上事業講師 (四国タオル工業組合) (2000)		
教育上の業績			
主な研究業績	(1) 「ケミカルシューズ産業の復旧・復興」(神戸商科大学北野正一氏と共著) 長岡豊編『震災復興の歩み』地碩書院、2000、pp.85～108。 (2) 「産地型集積における集積の利益と環境変化」『星陵台論集』第32巻、第3号、2000。 (3) 「移出・基盤産業と震災復興」『国民経済雑誌』第183巻、第1号、2001。 (4) 「被災地神戸の地場産業復興の難路と行政の役割ー長田ケミカルシューズ産業を例にー」『賃金と社会保障』1289・90合併号、2001。 (5) 「ケミカルシューズ産業における震災復興施策の検討ー空間整備事業を中心に」『地域経済学研究』第11号、2001。		

氏名	田邊靖夫	欧文名	TANABE, Yasuo
所属講座	地域・経済政策講座		
職名	助教授		
主要な学歴および職歴	(1)東京工業大学理学部卒業（1984） (2)東京工業大学大学院理工学研究科修了（1986） (3)経済企画庁経済研究所（1987） (4)経済企画庁調整局経済協力第一課専門調査員（1991） (5)経済企画庁調査局景気統計調査課課長補佐（1996） (6)国土庁地方振興局総務課課長補佐（1998）		
学位	(1)理学修士（東京工業大学, 1986）		
平成13年度担当科目（学部）	(1)日本経済論、経済政策 (2)入門ゼミ（夜間主） (3)演習「日本経済論」		
平成13年度担当科目（大学院）	(1)日本経済論特講		
専門分野	(1)日本経済論 (2)経済統計		
所属学会・協会	(1)日本統計学会		
現在の研究テーマ	(1)ゲーム理論の応用による経済現象の分析		
学会・社会における活動			
教育上の業績	(1)経済学B（全学教育科目）の講義ノートのホームページによる公開（2001） (2)日本経済論の講義ノートのホームページによる公開（2001）		
主な研究業績	(1)論文「第3次世界経済モデルによる政策シミュレーションの分析」（経済分析第111号,1987）（共著） (2)論文「EPA 世界経済モデルの構造と財政政策の効果」（経済分析第114号,1989）（共著） (3)論文「モンテカルロ実験に基づく季節調整法の比較分析」（経済月報99年7月号,1999）（共著） (4)論文「景気動向指数のスペクトル解析」（日本統計学会誌第29巻第3号,1999年） (5)論文「Stochastic Property of Imitation Dynamics」（Discussion Paper Series, Faculty of Economics, Nagasaki University, 2001年）		

氏名	柴多一雄	欧文名	SHIBATA,Kazuo
所属講座	地域・経済政策講座		
職名	教授		
主要な学歴および職歴	(1)九州大学文学部卒業 (1974) (2)九州大学大学院文学研究科修士課程修了 (1976) (3)九州大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学 (1980) (4)九州大学文学部助手 (1980) (5)九州大学文学部講師 (1985) (6)長崎大学経済学部教授 (1994)		
学位	(1)文学修士 (九州大学,1976)		
平成13年度担当科目 (学部)	(1)日本経済史 (2)演習「日本経済史」		
平成13年度担当科目 (大学院)	(1)経済史特講		
専門分野	(1)日本経済史		
所属学会・協会	(1)社会経済史学会 (2)歴史学研究会 (3)日本史研究会 (4)地方研究協議会 (5)九州史学研究会 (6)史学会		
現在の研究テーマ	(1)日本近世社会の経済構造		
学会・社会における活動			
教育上の業績			
主な研究業績	(1)「近世後期秋月藩における農村政策と農村」(『日本歴史』513号,1991) (2)「享保の飢饉と藩体制の転換」(『九州文化史研究所紀要』39号,1994) (3)「近世中後期福岡藩における財政構造の特質」(『西南地域史研究』10輯, 1995) (4)「元禄期北部九州における農業技術と経営」(『東南アジア研究所年報』36・37合併号,1996) (5)「福岡藩の家臣団」(『福岡藩分限帳集成』1999)		

氏名	田村 耕一	欧文名	TAMURA, Koichi
所属講座	地域経済政策		
職名	助教授		
主要な学歴および職歴	(1) 広島大学法学部法学科卒業 (1988) (2) 広島大学大学院社会科学研究科博士課程前期 (法律学専攻) 修了 (1996) (3) 広島大学大学院社会科学研究科博士課程後期 (法律学専攻) 修了 (1999) (4) 長崎大学経済学部専任講師 (1999) (5) 長崎大学経済学部助教授 (1999)		
学位	(1)博士 (法律学) 広島大学 (1999)		
平成13年度担当科目 (学部)	(1)民法 (2)演習「財産法」 (3)演習「財産法」(夜間主コース)		
平成13年度担当科目 (大学院)	(1)民法特講 I		
専門分野	(1)民法		
所属学会・協会	(1)私法学会		
現在の研究テーマ	(1)動産をめぐる債権回収確保手段について (2)実体法と倒産法の効力の関係について		
学会・社会における活動			
教育上の業績			
主な研究業績	(1)「ドイツにおける所有権留保の横断的考察－実体法・手続法をめぐる最近の動向を中心に－ (1)・(2・完)」広島法学 21 巻 4 号 (1998 年 3 月) 245 頁、同 22 巻 1 号 (同年 7 月) 197 頁 (2)「ドイツ民法典制定過程における所有権留保 (1)」経営と経済 80 巻 2 号 (2000 年 9 月) 115 頁 (3)「ドイツにおける所有権留保の横断的考察」私法 63 号 (2001 年 4 月) 218 頁		

氏名	村山洋介	欧文名	MURAYAMA, Yosuke
所属講座	地域・経済政策		
職名	助教授		
主要な学歴および職歴	(1) 近畿大学法学部卒業(1992) (2) 和歌山家庭裁判所入所(1992)、同退職(1994) (3) 広島大学大学院社会科学研究科博士前期課程修了(1996) (4) 広島大学大学院社会科学研究科博士後期課程修了(1999) 広島大学法学部学部助手(1999)		
学位	(1) 修士(法学) 1996年 広島大学 (2) 博士(法学) 1999年 広島大学		
平成13年度担当科目(学部)	(1) 債権法 (2) 憲法A(夜間主) (3) 演習「取引と法」		
平成13年度担当科目(大学院)	(1) 民法特講Ⅱ		
専門分野	(1) 財産法 (2) 非典型担保		
所属学会・協会	(1) 日本私法学会 (2) 中四国法政学会 (3) 取引法研究会(大阪) (4) 日本ビジネス法学会		
現在の研究テーマ	(1) 相殺契約の第三者対抗力 (2) 約款取引における相殺条項		
学会・社会における活動			
教育上の業績			
主な研究業績	(1) 「相殺契約の第三者効について」広法 21 巻 4 号 (2) 「相殺の担保作用と第三者に対する効力(1)(2・完)」広法 23 巻 2 号,4 号 (3) 「敷金返還請求権と賃料債権を相殺する旨の合意と抵当権者の物上代位による差押の優劣」広島法学 24 巻 1 号 (4) 「合意相殺の類型化と第三者に対する効力」法時 72 巻 9 号 (5) 「ドイツ法における第三者相殺理論の一考察(1)」広法 24 巻 4 号		

氏名	吉田省三	欧文名	YOSHIDA, Shozo
所属講座	地域経済政策講座		
職名	助教授		
主要な学歴および職歴	(1)慶応義塾大学法学部卒業(1974) (2)明治大学大学院法学研究科博士前期課程修了(1977) (3)明治大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学(1983) (4)長崎大学商科短期大学部講師(1983) (5)長崎大学商科短期大学部助教授(1985)		
学位	(1)修士(法学)		
平成13年度担当科目(学部)	(1)独占禁止法(昼間) (2)独占禁止法(夜間) (3)演習(経済法)		
平成13年度担当科目(大学院)	(1)経済法特講II		
専門分野	(1)経済法 (2)協同組合法		
所属学会・協会	(1)経済法学会 (2)民主主義科学者協会法律部会 (3)協同総合研究所		
現在の研究テーマ	(1)イタリア中道左派政権の経済政策と法 (2)イタリア協同組合法制の改革		
学会・社会における活動	(1)生活協同組合ララコープ理事(2001) (2)長崎県弁護士会懲戒委員会委員(1998-2001)		
教育上の業績			
主な研究業績	(1)イタリアの1998年商業改革と多元的商業の保障, 中小商工業研究, 63号, 2000.3. (2)規制緩和と消費者契約法, 消費者法ニュース, 45号, 2000.10 (3)イタリア・レガコープ第35回大会—協同組合法制の改革を中心に, 協同の発見, 92号, 1999.12 (4)イタリアの失業問題と中小企業・非営利協同部門, 法の科学, 26号, 1997 (5)独禁政策の変化と規制改革, 中小商工業研究, 41号, 1994.12		

氏名	鈴木孝直	欧文名	SUZUKI, Takanao
所属講座	地域・経済政策講座		
職名	助教授		
主要な学歴および職歴	(1)慶応義塾大学商学部卒業（1987） (2)国税庁入庁（1987） (3)広島国税局総務課長（1997） (4)ハーバード大学ロースクール国際租税講座（1998） (5)税務大学校研究部教授（1999） (6)長崎大学経済学部助教授（2000）		
学位	(1)商学士（慶応義塾大学,1987）		
平成13年度担当科目（学部）	(1)租税法 (2)租税法（夜間主） (3)法学A（夜間主） (4)現代経済法概論 (5)演習「租税法」		
平成13年度担当科目（大学院）	(1)租税法特講		
専門分野	(1)租税法		
所属学会・協会			
現在の研究テーマ	(1)税務における事前確認制度		
学会・社会における活動			
教育上の業績	(1)老岐法人会記念講演 (2)カンボジア税務行政研修特別講義 (3)市町村税務職員初任者研修講師 (4)茶の間の経済学講師		
主な研究業績	(1)「納税者番号制度についての一考察」税務大学校 90.6 (2)「California Unitary Tax Latest Development」Institute for Tax Administration 91.3 (3)「日本銀行のOCR処理の導入に伴う大蔵省令の整備について」全国会計職員協会 92.6 (4)「帳簿書類の保存等の在り方についての概要」商事法務研究会（NBL）97.5 (5)「Transfer Pricing Taxation in the U.S. and Japan」International Tax Program（HLS）99.5 (6)「日本における税務行政」国税庁 87.10		

氏名	田中 謙	欧文名	TANAKA, Ken
所属講座	地域・経済政策講座		
職名	助教授		
主要な学歴および職歴	(1) 関西大学法学部卒業(1994) (2) 神戸大学大学院法学研究科博士課程前期課程修了(1997) (3) 神戸大学大学院法学研究科博士課程後期課程単位取得退学(2000) (4) 長崎大学経済学部専任講師(2000) (5) 長崎大学経済学部助教授(2001)		
学位	(1) 修士(法学)(神戸大学、1997)		
平成13年度担当科目(学部)	(1) 行政法 (2) 行政法(夜間主) (3) 演習「行政法」		
平成13年度担当科目(大学院)	(1) 行政法特講(行政・政策モデル)		
専門分野	(1) 行政法 (2) 環境法		
所属学会・協会	(1) 日本公法学会 (2) 環境法政策学会 (3) 環境経済・政策学会 (4) 日本公共政策学会 (5) 関西行政法研究会 (6) 行政法学法理研究会		
現在の研究テーマ	(1) 環境政策における環境情報の統制 (2) 諫早湾干拓事業の法的評価と今後の方向性		
学会・社会における活動			
教育上の業績			
主な研究業績	(1) 「環境マネジメント・監査手法の考察(上)」六甲台論集〔法学政治学篇〕44巻2号(1997年10月)69-99頁 (2) 「環境マネジメント・監査手法の考察(下)」六甲台論集〔法学政治学篇〕44巻3号(1998年2月)149-181頁 (3) 「琵琶湖総合開発特別措置法における琵琶湖の環境保全」阿部泰隆＝中村正久編『湖の環境と法－琵琶湖のほitoriから－』(信山社、1999年7月)51-72頁〔阿部泰隆教授と共同執筆〕 (4) 「P R T R法における環境情報の統制」長崎大学経済学部研究年報17巻(2001年1月)15-40頁 (5) 「環境監査法」阿部泰隆編『ドイツ環境法』(信山社、近刊予定)		

氏名	青山 繁	欧文名	AOYAMA, Shigeru
所属講座	経済協力・国際コミュニケーション		
職名	教授		
主要な学歴および職歴	(1)一橋大学経済学部卒業(1977) (2)大蔵省入省(1977) (3)ジョンズ・ホプキンス大学大学院(SAIS)修士課程修了(1990) (4)大蔵省退官(1998) (5)長崎大学経済学部教授(1999)		
学位	(1)国際公共政策修士(ジョンズ・ホプキンス大学, 1990)		
平成13年度担当科目(学部)	(1)開発経済学 (2)国際関係概論		
平成13年度担当科目(大学院)	(1)開発経済学特講		
専門分野	(1)開発経済学 (2)移行経済論		
所属学会・協会			
現在の研究テーマ	(1)新制度派経済学の開発と移行への適用		
学会・社会における活動			
教育上の業績	(1)新制度派経済学のテキスト作成(翻訳, 2001)		
主な研究業績	(1)著書 『欧州の大国ポーランド——高成長の秘密』大蔵省印刷局(1997) (2)著書 『東欧・ロシアの金融市場』東洋経済新報社(1998, 共著)		

氏名	田口信夫	欧文名	TAGUCHI, Nobuo
所属講座	経済協力・国際コミュニケーション講座		
職名	教授		
主要な学歴および職歴	(1) 長崎大学経済学部卒業 (1969) (2) 京都大学大学院経済学研究科修士課程修了 (1971) (3) 長崎大学経済学部助手 (1972) (4) 長崎大学経済学部講師 (1974) (5) 長崎大学経済学部助教授 (1977) (6) 長崎大学経済学部教授 (1989)		
学位	(1) 経済学修士 (京都大学、1971)		
平成13年度担当科目 (学部)	(1) 国際投資論 (2) 国際投資論 (夜間主) (3) 演習「国際投資論」		
平成13年度担当科目 (大学院)	(1) 日本・アジア国際開発特講		
専門分野	(1) 国際経済		
所属学会・協会	(1) 日本・国際経済学会 (2) 九州経済学会		
現在の研究テーマ	(1) アジア地域の経済開発に関する研究		
学会・社会における活動	(1) 長崎市都市計画審議会委員 (1989～現在) (2) 長崎市女性問題懇話会委員 (1993～1999)		
教育上の業績			
主な研究業績	(1) 「南北問題の今日」(共著) 同文館、1986 (2) 「現代世界経済をとらえる」(共著) 東洋経済新報社、1991 (3) 「発展途上国経済論」(共著) ミネルヴァ書房、1994 (4) 「日本経済の競争力と国際化」(共著) ミネルヴァ書房、2000 (5) 「東アジア経済と日本」(共著) ミネルヴァ書房、2000		

氏名	井手啓二	欧文名	IDE, Keiji
所属講座	経済協力・国際コミュニケーション講座		
職名	教授		
主要な学歴および職歴	(1) 山口大学経済学部経済学科卒業（1965） (2) 京都大学大学院経済学研究科修士課程修了（1967） (3) 京都大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学（1970） (4) 立命館大学経営学部助教授（1970） (5) 立命館大学経営学部教授（1983） (6) 長崎大学経済学部教授（1994）		
学位	(1) 経済学修士（京都大学 1967）		
平成13年度担当科目（学部）	(1) アジア経済論（昼間） (2) 国際関係概論（昼間） (3) 演習「アジア経済論・比較経済発展論」（昼間、夜間主） (4) 演習「国際教育演習」（昼間・夜間主合併）		
平成13年度担当科目（大学院）	(1) 比較経済特講 (2) 比較経済学演習		
専門分野	(1) アジア経済論 (2) 経済体制論		
所属学会・協会	(1) 比較経済体制学会 (2) 経済理論学会 (3) 比較経営学会 (4) 日本経営学会 (5) 日本・スラブ・東欧研究学会 (6) アジア経営学会		
現在の研究テーマ	(1) 中国経済改革の理論的・実証的研究 (2) 中欧三国の経済体制転換過程の研究		
学会・社会における活動	(1) 比較経済体制学会幹事（通算6期12年） (2) 第15期日本学術会議経済理論研究連絡委員（1993－1996） (3) 比較経営学会理事・常任理事・会計監査（通算8期16年） (4) 日本・スラブ・東欧研究学会（JSSEES）理事・編集委員（1987－2000） (5) 「社会主義経済研究」誌・「比較経済体制研究」誌編集代表（1983－1995）		
教育上の業績	(1) 大阪外国語大学、龍谷大学、大阪経済大学、高知短期大学、池坊短期大学、ワルシャワ大学、静岡大学、立命館大学大学院、沖縄国際大学、純心大学等非常勤講師 (2) 立命館大学土曜講座（1976－1993）、長崎大学公開講座（1994～）等の開催に協力		

<p>主な研究業績</p>	<p>(1) 井手啓二『中国社会主義と経済改革－歴史的位罫－』法律文化社, PP. 1-256, 1988年。</p> <p>(2) 井手啓二「激動のポーランド社会主義」, 上島武・井手啓二・山本恒人著 『転機に立つ社会主義』世界思想社, PP. 69-133, 1985年。</p> <p>(3) 井手啓二「市場と計画－社会主義の到達点」, 経済理論学会編『市場と計画－現代的諸問題の理論的検討』青木書店, PP. 22-37, PP. 64, 1992年。</p> <p>(4) 井手啓二「ポーランドにおける経済体制転換と私有化」, 田中雄三編『脱社会主義経済の現状』リベルタ出版, PP. 183-214, 1994年。</p> <p>(5) 井手啓二「アジア経済危機後の中国经济と国有企業改革」, 西口清勝・西沢信善編『東アジア経済と日本』ミネルヴァ書房, PP. 92-108, 2000年。</p>
---------------	---

氏名	松本睦樹	欧文名	MATUMOTO, Mutuki
所属講座	経済協力・国際コミュニケーション		
職名	教授		
主要な学歴および職歴	(1)龍谷大学経済学部卒業（1976年） (2)同志社大学大学院博士前期課程修了（1980年） (3)同志社大学大学院博士後期課程満期退学（1986年）		
学位	(1)経済学修士（同志社大学，1980年） (2)博士（経済学）（京都大学，2000年）		
平成13年度担当科目（学部）	(1)外国経済史（昼間および夜間） (2)演習（世界経済史論）		
平成13年度担当科目（大学院）	(1)外国経済史特講		
専門分野	(1)イギリス帝国史		
所属学会・協会	(1)社会経済史学会		
現在の研究テーマ	(1)植民地期インドの本国送金に関する研究		
学会・社会における活動			
教育上の業績			
主な研究業績	(1)『イギリスのインド統治』（阿吽社，1996年） (2)『国際経済史』（共著，浅羽義昌編，ミネルヴァ書房，1996年） (3)『世界経済史』（共著，入江節次郎編，ミネルヴァ書房，1997年） (4)「イギリス東インド会社と19世紀イギリス議会資料」（『東南アジア研究年報』第40集，1999年）		

氏名	Geoffrey C. Gunn	欧文名	
所属講座	経済協力・国際コミュニケーション講座		
職名	Professor		
主要な学歴および職歴	(1) Senior Lecturer/Asian History, Faculty of Arts and Social Sciences, Universiti Brunei Darussalam (2) Lecturer/Asian Politics, Faculty of Arts and Social Sciences, National University of Singapore (3) Lecturer/international Relations, Faculty of Humanities, University of New South Wales; etc.		
学位	(1) M. Soc. Sci. (Asian Government) University of Queensland (2) Ph.D. (Asian Politics) Monash University, conferred 1985.		
平成13年度担当科目(学部)	(1) Japan-Asia International Relations (2) (Evening Course) "Japan-Asia International Relations" (3) University-Wide Education course "Understanding Southeast Asia" (4) Zemi on Japan-Asia		
平成13年度担当科目(大学院)	(1) "Political Economy of Southeast Asia"		
専門分野	(1) Political Scientist specializing on Southeast Asia		
所属学会・協会	(1) Editorial board of Journal of Contemporary Asia (Manila)		
現在の研究テーマ	(1) "First Globalization: The Eurasian Exchange"		
学会・社会における活動	(1) Occasional Consultant Sociologist to UN in East Timor (UNTAET)		
教育上の業績			
主な研究業績	(1) Revolution in Laos: The 'Fourth Generation' of People's War?, Southeast Asia Monograph Series No.8, B. Hering (ed.), James Cook University of North Queensland, Townsville, 1981, 89 pp. [jointly authored with D. Fletcher] (2) Political Struggles in Laos (1930-1954): Vietnamese Communist Power and the Lao Struggle for National Independence, Editions Duang Kamol, Bangkok, 1988, 325 pp., biblio, index. (3) Rebellion in Laos: Peasant and Politics in a Colonial Backwater, Praeger/Westview, Boulder, San Francisco and Oxford, 1990, pp.240, biblio, index. (4) Cambodia Watching Down Under: A Critical view of Western Scholarship and Journalism on Cambodia since 1975, Institute of Asian Studies, Chulalongkorn University Press, Bangkok, 1991, 358 pp. [jointly authored with J. Lee]		

- (5) A Critical View of Western Journalism and Scholarship on East Timor Since 1975, *Journal of Contemporary Asia* Press, Manila, 1994, 272 pp., biblio, index. [with one chapter by J.Lee]
- (6) Macau: An Economic and Political History, Nagasaki University Southeast Asia Research Center Monograph, No.28, 1995, 207pp./Encountering Macau: The Rise of a Portuguese City-State on the Periphery of China, 1557-1999, Harper and Row/Westview Press, Boulder, 1986, 211 pp, biblio, index/Ao Encontro de Macau: Uma Cidade-Estado portuguesa na periferia da China, 1557-1999 [Portuguese language version with additional preface], Territorial Commission of Macau for the Commemoration of the Portuguese Discoveries, Macau, 1998.
- (7) Tan Malaka's Naar de Republiek Indonesia: A Translation and Commentary, Nagasaki University Southeast Asia Research Center Monograph, No.29, 1996, 90 pp.
- (8) Language, Power and Ideology in Brunet Darussalam, Monographs in International Studies, Southeast Asia Series, No.99, Ohio University, 1996, 284 pp, biblio, index.
- (9) East Timor and the United Nations: The Case for Intervention, The Red Sea Press, Trenton, N.J./Asmara, Eritrea, 1997, 200pp.
- (10) Theravadins, Colonialists and Commissars in Laos, White Lotus Press, Bangkok, 1998, 277pp.
- (11) Timor Loro Sae 500 Years,[Livros do Oriente, Macau], 1999/Timor Loro Sae.. 500 Anos [Portuguese language version] [Livros do Oriente, Lisbon, 1999], 323pp.
- (12) Nagasaki in the Asian Bullion Trade Networks, Nagasaki University Southeast Asia Research Center Monograph, No. 32, 1999, 196pp.
- (13) New World Hegemony in the Malay World, Red Sea Press, Trenton, N.J./Asmara, Eritrea, 2000, 282pp.
- (14) "First Globalization: The Eurasian Exchange" (in progress), tentative publishing agreement with Rowman & Littlefield.

氏名	木原 隆司	欧文名	KIHARA, Takasi
所属講座	国際協力・国際コミュニケーション		
職名	教授		
主要な学歴および職歴	(1)一橋大学商学部卒業・大蔵省入省(1980) (2)米州開発銀行 (IDB) 財務局・資金移動官(1982) (3) (財) 世界平和研究所・主任研究員(1992) (4)在ジュネーブ国際機関日本政府代表部一等書記官(1993) (5)外務省大臣官房文化交流部文化第二課長(1998) (6)大蔵省国際局開発企画官(1999)		
学位	(1) 商学学士 (一橋大学、1980) (2) 経済学修士 (米国ジョージ・ワシントン大学、1985)		
平成13年度担当科目 (学部)	(1) 国際協力機構論 (2) 演習「開発援助・国際機構」 (3) 基礎ゼミ		
平成13年度担当科目 (大学院)	(1)国際経済政策特講		
専門分野	(1)国際経済学 (国際金融論) (2)開発経済学 (3)国際機構論		
所属学会・協会	(1) 日本評価学会 (2) 日本経済法学会 (3)American Economic Association		
現在の研究テーマ	(1) 国際 (地球) 公共財としての国際機構 (2) 国際経済政策策定及び政策協調 (3) 開発評価		
学会・社会における活動	(1) G E F (地球環境ファシリテーター) 評議員(1999-2001) (2) U N D P (国連開発計画) コンサルタント(2001) (3) 財務省特別研究官(2001-)		
教育上の業績	(1)金融経済の教科書を作成中 (共著、2002年3月東洋経済新報社より発刊予定)		
主な研究業績	(1)『留学生交流の数量分析—留学整数伸び悩みに対する「教育の経済学」の適用可能性についてについての一試論』(世界平和研究所、1999) (2)「旧ソ連諸国に対する支援のあり方」(産業研究所、1993) (3)『新しい公共料金政策』(ぎょうせい、1991) (4)『物価レポート』(経済企画庁、1990、1991) (5)On Efficiency of Foreign Exchange Markets and Asset Approaches to Exchange Rate Determination – Empirical Analyses with recent experiences of Japanese Yen, Deutsche Mark and Swiss Franc (mimemo. George Washington University 1985) (6)External Dept of Non-oil Developing Countries – Some Applications to Three Largest Borrowers (mimemo George Washington University 1984)		

氏名	井田洋子	欧文名	I D A, Y o k o
所属講座	経済協力・国際コミュニケーション講座		
職名	助教授		
主要な学歴および職歴	(1)関西学院大学法学部卒業（1985） (2)神戸大学大学院法学研究科博士前期課程終了（1988） (3)長崎大学商科短期大学部助手（1988） (4)長崎大学商科短期大学部講師（1989） (5)長崎大学経済学部講師（1996） (6)長崎大学経済学部助教授（1999）		
学位	(1)法学修士(神戸大学 1988)		
平成13年度担当科目（学部）	(1)憲法 (2)憲法(夜間主) (3)演習「憲法問題の探求」		
平成13年度担当科目（大学院）	(1)比較公法特講		
専門分野	(1)憲法学		
所属学会・協会	(1)全国憲法研究会 (2)日本 公法学会 (3)宗教法学会		
現在の研究テーマ	(1)政教分離 (2)少年法		
学会・社会における活動	(1)長崎市女性問題懇話会委員 (2)長崎市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員		
教育上の業績			
主な研究業績	(1)『憲法学への招待』（青林書院、共著、2000年4月） (2)「フランスにおける国家と宗教—特にコンコルダ（政教協約）制度を中心にして」（『経営と経済』第68巻第4号、1990年3月） (3)「政教分に関する判例研究—いわゆる目的効果基準を中心にして—（Ⅰ）（Ⅱ）（Ⅲ）」（『経営と経済』第71巻第4号、1991年12月、第72巻第4号1993年3月、第77巻第2号、1997年9月） (4)「フランスにおける国家と宗教—政教分離を巡る状況を中心にして—」（『宗教法』17号、1999年1月） (5)「少年法改正問題を考える」（『経営と経済』第80巻第1号2000年6月）		

氏名	丸山真純	欧文名	MARUYAMA, Masazumi
所属講座	経済協力・国際コミュニケーション講座		
職名	助教授		
主要な学歴および職歴	(1)静岡県立大学国際関係学部卒業（1992） (2)米国オクラホマ大学大学院コミュニケーション研究科修士課程修了（1993） (3)米国オクラホマ大学大学院コミュニケーション研究科博士課程修了（1998） (4)長崎大学経済学部講師（1998） (5)同助教授（1999）		
学位	(1)M.A. (Communication) (Department of Communication, University of Oklahoma, 1993) (2)Ph.D. (Communication) (Department of Communication, University of Oklahoma, 1998)		
平成13年度担当科目（学部）	(1)国際コミュニケーション論 (4)総合英語Ⅰ（夜間主） (2)言語コミュニケーション（英語）（夜間主） (5)総合英語Ⅱ（夜間主） (3)演習（異文化コミュニケーション論）		
平成13年度担当科目（大学院）	(1)異文化コミュニケーション論特講		
専門分野	(1)異文化コミュニケーション論 (2)異文化教育		
所属学会・協会	(1)日本コミュニケーション学会 (2)異文化間教育学会		
現在の研究テーマ	(1)文化ナショナリズムと異文化コミュニケーション (2)多文化主義		
学会・社会における活動	(1)SIETAR JAPAN の学術誌「異文化コミュニケーション」の客員査読委員（2001年）		
教育上の業績	特になし		
主な研究業績	(1)Cross-Cultural Adaptation and Host Environment: A Study of International Students in Japan. (Ph.D. dissertation at the Department of Communication, University of Oklahoma, 1998) (2)Approving and Disapproving Grandmothers and Strangers: Young Taiwanese and American Comparisons. (Co-authored) <u>Journal of Asian Pacific Communication</u> , 8(2), 125-149, 1998. (3)How is society possible? Two Approaches: Functional-Structural Approach and Ethnomethodology. 東南アジア研究年報（長崎大学経済学部）, 40, 1-16, 1998. (4)External Variable and Systems Approaches in Nonverbal Communication Studies: Comparisons. 長崎大学経済学部研究年報, 15, 79-92, 1999. (5)異文化コミュニケーション論を再考する：「文化」の概念を中心に。日本コミュニケーション学会年次大会にて発表。2001年。		

氏名	白水桂子	欧文名	SHIROZU, Keiko
所属講座	経済協力・国際コミュニケーション講座		
職名	講師		
主要な学歴および職歴	(1)西南学院大学文学部外国語学科卒業 (1987) (2)西南学院大学大学院文学研究科博士前期課程修了 (1989) (3)西南学院大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学 (1992) (4)長崎大学経済学部講師 (1992)		
学位	(1)文学修士 (西南学院大学、1989)		
平成13年度担当科目 (学部)	(1)言語コミュニケーション (英語) (2)基礎ゼミ (3)演習「社会言語学」		
平成13年度担当科目 (大学院)			
専門分野	(1)英語学 (意味論、語用論) (2)英語コーパス分析		
所属学会・協会	(1)日本英語学会 (2)日本英文学会九州支部 (3)英語コーパス学会 (4)日本語用論学会 (5)西南英語英文学研究会		
現在の研究テーマ	(1)コーパス利用による程度副詞、照応表現等に関する語法研究 (2)指定文 (分裂文、疑似分裂文等) の語用論的分析		
学会・社会における活動			
教育上の業績			
主な研究業績	(1)「分裂文のテキスト形成的修辭について」(1993) (2)「逆行照応の談話内での機能について」(1996) (3)「情報のなわ張り」と丁寧表現」(1991) (4)「'Neg-Raising'の語用論的機能」(1990) (5)“The Semantic and Pragmatic Accounts of Neg-Raising”(1989)		

氏名	遠藤文彦	欧文名	ENDO, Fumihiko
所属講座	経済協力・国際コミュニケーション講座		
職名	教授		
主要な学歴および職歴	(1)東北大学文学部卒業(1982) (2)東北大学大学院文学研究科博士課程前期課程修了(1984) (3)東北大学大学院文学研究科博士課程後期単位取得満期退学(1990) (4)長崎大学教養部専任講師(1991) (5)長崎大学教養部助教授(1993) (6)長崎大学経済学部教授(2000)		
学位	(1)文学修士(東北大学、1984) (2)文学博士(パリ第7大学、1993)		
平成13年度担当科目(学部)	(1)言語コミュニケーション(仏語) (2)演習「フランス文化論」		
平成13年度担当科目(大学院)			
専門分野	(1)フランス文学		
所属学会・協会	(1)日本フランス語フランス文学会(2)同学会東北支部学会 (3)同学会九州支部学会		
現在の研究テーマ	(1)マルグリット・デュラス研究 (2)フランス文学史教授法		
学会・社会における活動			
教育上の業績			
主な研究業績	(1)『ロラン・バルト 記号と倫理』(単著書、1998) (2)『ピエール・ロチ 珍妙さの美学』(単著書、2001) (3)『『ブヴァールとペキュシェ』における“レフェランス”をめぐって』(論文、単著、1987) (4)「エクリチュールの倫理 フロベールにおけるニヒリズムの転換」(論文、単著、1991) (5)『『聖アントワヌの誘惑』における異端の言説と神々の行列』(論文、単著、1986)		

氏名	政岡豊	欧文名	MASAOKA, Yutaka
所属講座	経済協力・国際コミュニケーション		
職名	助教授		
主要な学歴および職歴	(1)早稲田大学第一文学部卒業（1963） (2)エッソ石油入社（1963）、同退社（1976） (3)Tulane 大学経営大学院修了（1969） (4)TEC 入社（1976）、同退社（1988） (5)アジア開発銀行入行（1988）、同退行（2000） (6)長崎大学経済学部助教授（2000）		
学位	(1)経営学修士（Tulane 大学、1969）		
平成13年度担当科目（学部）	(1)経済学 (2)ビジネス英語（夜間主） (3)演習「開発投資論」		
平成13年度担当科目（大学院）			
専門分野	(1)開発投資論 (2)財務管理論 (3)ビジネス英語		
所属学会・協会	(1)The Institute of Corporate Directors（マニラ） (2)国際開発学会(入会予定)		
現在の研究テーマ	(1)開発への市場原理導入 (2)MDB の貧困削減戦略		
学会・社会における活動	(1)長崎市民向け講座講師(2000/2001) (2)APEC 研究センター横浜会議研究発表（1998） (3)横浜国立大学横浜国際法学会寄稿（1995） (4)産業医科大学講演（1997）		
教育上の業績	(1)経済学入門用テキスト作成（2001） (2)長崎大学の国際化の一貫として海外からの講師招聘と講義の通訳（2000/2001）		
主な研究業績	(1) 論文「アジア域内経済協力」東南アジア研究年報（2001） (2) 解説「BOT 電力プロジェクト」日本プラント協会（1996） (3) 学会発表「変遷するアジア開発銀行の役割」横浜国立大学国際経済法学会（1995） (4) ワーキング・ペーパー「欧州国際援助機関のアジア戦略」（1995/1996） (5) 報告書「BOT 電力研究」アジア開発銀行(1991)		

氏名	森永春乃	欧文名	MORINAGA、haruno
所属講座	経済協力・国際コミュニケーション講座		
職名	講師		
主要な学歴および職歴	(1) 活水女子短期大学英文科専攻科修了（1967） (2) 長崎ユネスコ協会事務局国際交流担当（1967－1989） (3) 長崎総合科学大学非常勤講師（1979－現在） (4) 活水女子大学（短期大学）非常勤講師（1990－現在） (5) 長崎大学経済学部講師（1990－現在）		
学位			
平成13年度担当科目（学部）	(1) 経済日本語・日本事情		
平成13年度担当科目（大学院）			
専門分野	(1) 留学生用科目		
所属学会・協会	(1) 留学生教育学会 (2) 日本語教育学会 (3) JAFSA		
現在の研究テーマ	(1) 留学生教育(教育制度及び日本語教育) (2) 異文化コミュニケーション		
学会・社会における活動	(1) 長崎市平和宣言文起草委員（1992－1998） (2) 長崎ソロプチミストユースフォーラムコーディネーター(1995－2001) (3) 第5回アジア大学コーディネーター（2000）		
教育上の業績			
主な研究業績	(1) 「異文化コミュニケーションの現状」（1992） 長崎大学留学生指導センター報告書 (2) 「アンケート調査報告書－留学生専門教育教官分科会結成に当たって」 （共著） 留学生教育学創刊号（1997） (3) 「留学生専門教育教官アンケート調査報告書」（1999） （共著） 留学生教育別冊		

氏名	内田 滋	欧文名	UCHIDA, Shigeru
所属講座	金融システム講座		
職名	教授		
主要な学歴および職歴	(1)大阪大学経済学部卒業（1972） (2)久保田鉄工株式会社入社（1972）、同退社（1976） (3)筑波大学大学院経営・政策科学研究科修士課程修了（1979） (4)京都大学大学院経済学研究科博士後期課程退学（1983）、同修了（1987） (5)長崎大学経済学部講師（1983） (6)同 助教授（1984）		
学位	(1) 経済学修士（筑波大学、1979） (2) 経済学博士（京都大学、1987）		
平成13年度担当科目（学部）	(1)金融論 (2)同（夜間主） (3)演習（金融論）		
平成13年度担当科目（大学院）	(1)金融論特講 (2)演習（個別研究）		
専門分野	(1)金融論 (2)企業経済論		
所属学会・協会	(1)日本経済学会 (2)日本金融学会 (3)生活経済学会 (4)日本経営学会 (5)文化経済学会 (6)East Asian Economic Association		
現在の研究テーマ	(1)企業ガバナンスと組織文化に関する研究 (2)地域開発と生活経済に関する研究		
学会・社会における活動	(1)長崎市雇用問題審議会会長（1993－現在） (2)日本金融学会理事（1997－現在） (3)長崎商工会議所 TMO 協議会委員（2000－現在） (4)生活経済学会理事（2001－現在）		
教育上の業績	(1)経済学の初級テキスト共同作成『エコノミックス事始め』ミネルヴァ書房（1999） (2)長崎大学公開講座「現代経営：競争力を考える」開催・担当（2001）		
主な研究業績	(1)主要著書： <i>Economic Analysis of Incentive, Market and Organization</i> , 共著、Kyushu U.P. 1990 (2)〃『日系企業と東南アジアの経済発展』共編著、中央経済社、1993 (3)〃『規制緩和と銀行競争』千倉書房、1995 (4)〃『アジアの時代を迎えて』共著、大蔵省印刷局、1997 (5)最近の論文：生活設計とパーソナル・ファイナンスに関する一視点、『長崎大学経済学部研究年報』第17巻、2001		

氏名	神菌 健次	欧文名	Kamizono, Kenji
所属講座	金融システム講座		
職名	講師		
主要な学歴および職歴	(1)一橋大学経済学部卒業 (1993) (2)一橋大学大学院経済学研究科修士課程修了 (1995) (3)The Graduate School of Arts and Sciences, Colummia University 修了 (2001)		
学位	(1) 経済学修士 (一橋大学、1995) (2) Ph.D. (Mathematics) (Colummia University, 2001)		
平成13年度担当科目 (学部)	(1) 現代ポートフォリオ理論		
平成13年度担当科目 (大学院)			
専門分野	(1)数理ファイナンス理論 (2)ファイナンス計量分析		
所属学会・協会	(1)日本金融証券計量工学学会		
現在の研究テーマ	(1)取引コストのある市場におけるポートフォリオ		
学会・社会における活動			
教育上の業績			
主な研究業績	(1) <i>An Implementation of the HJM Model with Application to Japanese Interest Futures</i> , Financial Engineering and the Japanese Markets, vol 3. Pp.151-157 (1996), jointly with Takeaki Kariya. (2)『CIR型金利モデルの統計的検証』経済研究第48巻、pp. 193-206 (1997), 共著者 刈屋武昭 (3) <i>Hedging and Optimization under Transaction Costs</i> , PhD. dissertation, Colummia University (2001) (4) <i>On a Variational Inequality with a Stopping Game Combined with a Control</i> , to appear in Stochastics and Stochastics Repotts, jointly with Hiroaki Morimoto. (5) <i>Multivariate Utility Maximization under Transaction Costs</i> , submitted for publication.		

氏名	吉田高文	欧文名	YOSHIDA, Takafumi
所属講座	金融システム		
職名	助教授		
主要な学歴および職歴	(1) 名古屋大学経済学部経営学科卒業(1982) (2) 名古屋大学大学院経済学研究科前期課程経営学専攻修了(1985) (3) 同上後期課程単位取得満期退学(1988) (4) 長崎大学経済学部講師(1988) (5) 同上助教授(1993)		
学位	(1) 経済学修士 (名古屋大学、1985年)		
平成13年度担当科目(学部)	(1) 企業ファイナンス (昼間、夜間主) (2) 入門ゼミ (全学教育)、基礎ゼミ (3) 演習「企業ファイナンス」		
平成13年度担当科目(大学院)	(1) 企業財務特講		
専門分野	(1) 経営財務論 (2) 企業経済論		
所属学会・協会	(1) 日本経営学会 (2) 日本経営財務研究学会 (3) 生活経済学会 (4) 九州経済学会		
現在の研究テーマ	(1) 企業のエージェンシー理論 (2) 株式会社制度の理論的考察		
学会・社会における活動	(1) 学会での司会やコメンテーターなど		
教育上の業績	(1) 「金融～システムルネッサンスに向けて」公開講座実施 (1996年) (2) 「起業から企業へ」公開講座実施 (1997年)		
主な研究業績	(1) 「エージェンシー・コストと資本構成を巡る一考察」経済科学、1987年 (2) 「新しい企業理論の模索」経営学論集第五十八集、1988年 (3) 「企業のエージェンシー問題と監査：展望」経営と経済、1989年 (4) 「企業制度に関する一試論」経営学論集第六十二集、1992年 (5) 「調達手段とコントロール」経営と経済、1996年		

氏名	深浦 厚之	欧文名	FUKAURA, Atusyuki
所属講座	金融システム講座		
職名	教授		
主要な学歴および職歴	(1)北海道大学経済学部卒業(1981) (2)筑波大学大学院社会科学研究科博士課程単位取得退学(1986) (3)筑波大学社会科学研究科準研究員(1986) (4)長崎大学経済学部講師(1989) (5)長崎大学経済学部助教授(1991) (6)長崎大学経済学部教授(1997)		
学位	(1)学術修士(北海道大学、1983) (2)経済学修士 (筑波大学、1986)		
平成13年度担当科目(学部)	(1)経済政策(夜間主) (2)金融論(夜間主)		
平成13年度担当科目(大学院)	(1)金融論特講II		
専門分野	(1)金融論 (2)マクロ経済学		
所属学会・協会	(1) 日本経済学会 (2) 金融学会		
現在の研究テーマ	(1)証券化・PFIのマクロ経済学的影響に関する研究		
学会・社会における活動	(1)長崎市市民生活課アドバイザー、(1994-1995) (2)郵政省九州郵政局金融懇談会メンバー (1995から) (3)長崎県商工労働部企業振興課企業振興法審査委員(1998) (4)大蔵省福岡財務支局政策モニター (1998から) (5)大蔵省主税局委託研究員 (1999) (6)長崎市市立病院建設経営専門部会委員 (2000) (7)長崎市議会下水道料金に関わる公聴会公述人(2000)		
教育上の業績	(1)「21世紀へのキーワード」公開講座開催(1996) (2)「起業から企業へ」公開講座開催(1997) (3)「グローバリゼーションとは何だろうか」公開講座開催(2000)		
主な研究業績	(1)銀行組織の経済分析 有斐閣(1995) (2)債権流動化の経済学 日本評論社(1997) (3)債権流動化の研究視角ーアンバンドリングをめぐってー 「証券経済研究」第26号(2001) (4)不良債権問題と証券化の将来「証券経済研究」第24号(2000) (5)証券化におけるサービサーの機能「資産流動化研究」第6巻(2000)		

氏名	宮道 潔	欧文名	MIYAMICHI, Kiyoshi
所属講座	金融システム講座		
職名	教授		
主要な学歴および職歴	(1) 慶応義塾大学経済学部卒業(1959) (2) 大正（現三井）海上火災保険（株）入社(1959)、同社退社(1993) (3) 長崎大学教授経済学部(1993) (4) この間、三井海上社関係会社6社の役員兼任(1979-1992) (5) 損害保険事業研究所講師兼務(1973-1992) (6) 亜細亜大学経営学部非常勤講師兼務(1992-1993)		
学位			
平成13年度担当科目（学部）	(1) 保険論 (2) 保険論（夜間主） (3) 演習「保険論」		
平成13年度担当科目（大学院）	(1) リスク・マネジメント特講		
専門分野	(1) 保険論 (2) リスクマネジメント論		
所属学会・協会	(1) 日本保険学会		
現在の研究テーマ	(1) 損保会社の保証業務に関する研究 (2) 役員の責任に関する研究		
学会・社会における活動	(1) 損害保険事業研究所各務奨励賞受賞(1980) (2) 日本損害保険協会賠償責任保険・保証信用保険専門委員会委員(1971-1979) (3) 旧通商産業省輸出保険審議会幹事(1978-1979) (4) 経団連情報・通信委員会ネットワーク部会委員(1986-1988)		
教育上の業績	(1) 長崎大学公開講座（現代経営）(1993-2000) (2) 上海交通大学・上海財経大学特別講座（日本の保険状況及其特色）(1996-1997)		
主な研究業績	(1) 「リスクマネジメントと保険」税務経理協会、1996 (2) 「保証・信用保険の理論と実務」海文堂、1979 (3) Housing Loan Guarantee Insurance in Japan, Panamerican Surety Assn., 1990 (4) Surety Business in Japan, International Insurance Monitor, 1974 (5) 保証保険をめぐる諸問題、保険研究第31集、1979		

氏名	須齊正幸	欧文名	Masayuki Susai
所属講座	金融システム講座		
職名	助教授		
主要な学歴および職歴	(1)早稲田大学商学部卒業(1985) (2)早稲田大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学(1993) (3)早稲田大学商学部助手(1988-1990) (4)長崎大学経済学部講師(1993-1994) (5)長崎大学経済学部助教授(1994-) (6)カリフォルニア大学バークレー校 Haas School of Business Visiting Scholar(1997-1998)		
学位	(1)商学修士(早稲田大学)		
平成13年度担当科目(学部)	(1)国際金融論 (2)現代金融概論		
平成13年度担当科目(大学院)	(1)国際金融論特講 (2)ワークショップ		
専門分野	(1)国際金融論		
所属学会・協会	(1)日本金融学会 (2)西日本理論経済学会 (3)日本経営分析学会 (4)公益事業学会 (5)Western Finance Association		
現在の研究テーマ	(1)外国為替市場のマイクロ構造分析		
学会・社会における活動	(1)『金融経済研究』(日本金融学会誌)レフリー(1996-1997) (2)『電子商取引におけるクレジットの書面交付等の在り方に関する調査研究会』委員(経済産業省委託事業 日本クレジット産業協会)(2000-2001) (3)『IC機能付きクレジットカードの情報化ネットワークシステムの検討委員会』委員(通商産業省委託事業 日本クレジット産業協会)(1992-1993) (4)『生産性統計委員会』委員(日本生産性本部)(1990-1991)		
教育上の業績	(1)『現代の銀行経営論』(分担執筆)中央経済社 1997 (2)長崎大学経済学部公開講座開催(2001)		
主な研究業績	(1)「資産価格の変動特性に情報が与える影響：為替レートのボラティリティと情報変数」『クレジット研究』第24号(社)日本クレジット産業協会クレジット研究所 2001 p.200-225 (2)「マクロ経済指標の公表が外国為替市場に与える影響」(共著)『統計数理』第48巻第1号 2000 pp.213-227 (3)「ニュースと外国為替市場」(共著)『九州経済学会年報』1999 pp.30-35 (4)「Ultra-High-Frequency データによるニュースと為替レートの関連について」『クレジット研究』第19号(社)日本クレジット産業協会クレジット研究所 1998 pp.6-53 (5)『為替レートの経済学』P.Isard 著(共訳)東洋経済新報社 2001		

氏名	矢島邦昭	欧文名	YAJIMA, Kuniaki
所属講座	ファイナンス講座		
職名	教授		
主要な学歴および職歴	(1) 早稲田大学理工学部数学科卒業(1971) (2) 早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了(1973) (3) (株)野村総合研究所(1973)、同退社(1988/9) (4) (株)ニッセイ基礎研究所(1988/10)、同退社(1994) (5) 長崎大学経済学部教授(1994)		
学位	(1) 理学修士 (早稲田大学、1973)		
平成13年度担当科目(学部)	(1) 金融リスク管理(昼間) (2) 金融リスク管理(夜間) (3) 演習「投資戦略とリスク管理」 (4) 演習 基礎ゼミ		
平成13年度担当科目(大学院)	(1) 金融工学特講		
専門分野	(1) 金融工学		
所属学会・協会	(1)金融学会 (2)日本経営情報学会 (3)日本金融・証券計量・工学学会 (4)証券経済学会		
現在の研究テーマ	(1) 投資戦略とリスク管理		
学会・社会における活動			
教育上の業績	(1) 投資理論とリスク管理の教科書作成(1997)		
主な研究業績	(1) " Chaotic Dynamics and Memory Effects in Japan's Nikkei Stock Price Index " Advanced Series in Dynamical Systems of World Scientific(1995) (2) " 資産運用支援システムとその発展方向 " 日本経営情報学会(1995) (3) " 株価変動特性とリスク管理に関する一考察 " ジャフイー・ジャーナル(1995) (4) 「アセットアロケーション戦略」金融財政事情研究会(1992) (5) 「投資理論とリスク管理」学文社(1997)		

氏名	村山 晴彦	欧文名	MURAYAMA, Haruhiko
所属講座	金融システム講座		
職名	教授		
主要な学歴および職歴	(1) 長崎大学経済学部卒業 (1975) (2) 日本銀行入行(1975) (3) 経済企画庁出向(1979-1981) (4) 日本銀行審査局調査役・審査役 (1995-1999) (5) 日本銀行富山事務所長 (1999-2001) (6) 長崎大学経済学部教授 (2001)		
学位	(1) 経済学士 (長崎大学、1975)		
平成13年度担当科目 (学部)	(1) 現代ファイナンス論		
平成13年度担当科目 (大学院)			
専門分野	(1) 金融論		
所属学会・協会			
現在の研究テーマ	(1) 金融システムとプルーデンス政策に関する研究 (2) インフレーションと金融政策に関する研究 (3) 為替レートに関する研究		
学会・社会における活動	(1) 富山県金融広報委員会副会長 (1999-2001) (2) 富山経済同友会教育問題委員会副委員長 (1999-2001)		
教育上の業績	(1) 金融経済講演 (1999-2001 年中約 120 回) (2) NHKテレビ (富山放送局)「身近な経済」(1999-2001 年中 17 回)		
主な研究業績	(1) マネーサプライと物価—スタグフレーション試論— (ESP、1980) (2) 金融動向指数作成の試み (ESP、1981)		

氏名	川村雄介	欧文名	KAWAMURA, Yusuke
所属講座	金融システム講座		
職名	教授		
主要な学歴および職歴	(1)東京大学法学部第1類卒業(1977) (2)大和証券株式会社入社(1977) (3)ワシントン大学ロースクール大学院修士課程終了(1981) (4)ワシントン大学ロースクール大学院客員研究員(1981) (5)日本証券業協会会長秘書(1994) (6)大和証券シンジケート部長(1997)		
学位	(1)法律学修士(LL. M)		
平成13年度担当科目(学部)	(1)現代金融概論 (2)金融機関経営戦略 (3)金融システム論(夜間主) (4)演習「ビッグバン後の金融機関経営」		
平成13年度担当科目(大学院)	(1)金融機関特講		
専門分野	(1)金融機関経営戦略 (2)証券論		
所属学会・協会	(1)証券経済学会 (2)日本証券経済研究所		
現在の研究テーマ	(1)ビッグバン後の金融機関経営 (2)証券投資者教育 (3)新しいコーポレート・ガバナンスとIR		
学会・社会における活動	(1)長崎県産業振興財団委員 (2)長崎市公民館「輝く熟年大学」講師 (3)NBC長崎放送講師 (4)日本証券経済研究所客員研究員 (5)金融ビジネスモデル特許戦略編著(2000) (6)インターネットIR戦略入門編著(2001)		
教育上の業績	(1)証券市場論テキスト執筆(2001) (2)長崎大学公開講座講師(2000、2001)		
主な研究業績	(1)ビッグバン後の投資銀行業務の在り方について(証券経済研究第27号 日本証券経済研究所 2000年9月) (2)「投資銀行」の戦略メカニズム(資本市場研究会 2001年5月) (3)根本的投資促進策を欠く株式取得機構論議(金融財政事情 2001年4月16日) (4)株式絵本「伝蔵のころざし」(近代セールス社 2000年12月) (5)証券会社の組織と戦略(日本証券経済研究所 2001年3月)		

氏名	川口(尾関)幸美	欧文名	KAWAGUCHI Yukimi
所属講座	金融システム講座		
職名	助教授		
主要な学歴および職歴	(1)金沢大学法学部卒業(1994) (2)一橋大学大学院法学研究科修氏課程修了(1996) (3)一橋大学大学院法学研究科博士課程修了(1999) (4)長崎大学経済学部講師(1999) (5)長崎大学経済学部助教授(1999)		
学位	(1)法学修士(1996) (2)法学博士(1999)		
平成13年度担当科目(学部)	(1)商法 (4) 演習「会社法」 (2)基礎ゼミ (3)法学B(夜間主)		
平成13年度担当科目(大学院)	(1)経済法特講		
専門分野	(1)会社法 (2)証券取引法		
所属学会・協会	(1)日本私法学会商法部会 (2)日本証券学会 (3)取締役会研究会		
現在の研究テーマ	(1)コーポレート・ガバナンス (2)業務執行役員と社外取締役の実証研究(計量分析)		
学会・社会における活動			
教育上の業績			
主な研究業績	(1)「アメリカ法における社外取締役制度の1考察」(一橋論叢第119巻1号138-153頁(1998)) (2)「取締役の監視義務の再検討ー不実開示を基点としてー」(一橋論叢第120巻1号51-67頁(1998)) (3)「コンプライアンスの整備・運用と取締役の注意義務」(経営と経済第80巻4号1-30頁(2001)) (4)「ファイナンス用語辞典(共著)」(日本評論社2001刊行予定) (5)「アメリカにおける取締役会制度の展開ーコーポレート・ガバナンスの多様性の分析(仮題)ー」(「社外取締役制度の導入(共著)」(日本評論社2001年末刊行予定)		

氏名	古山 正明	欧文名	FURUYAMA, Masaaki
所属講座	金融システム講座		
職名	助教授		
主要な学歴および職歴	(1) 早稲田大学法学部卒業 (1983) (2) 一橋大学大学院法学研究科修士課程終了 (1985) (3) 一橋大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学 (1988) (4) 長崎大学経済学部専任講師 (1988) (5) 長崎大学経済学部助教授 (1991)		
学位	(1) 法学修士 (一橋大学、1985)		
平成13年度担当科目 (学部)	(1) 証券取引法 (昼間) (2) 証券取引法 (夜間主) (3) 演習「企業金融法」		
平成13年度担当科目 (大学院)	(1) 経済法特講 1		
専門分野	(1) 証券取引法 (2) 商法		
所属学会・協会	(1) 日本私法学会 (2) 日本経済法学会 (3) 日米法学会		
現在の研究テーマ	(1) 公開買付規制に関する比較法制度研究 (2) 株式会社の資金調達に関わる法制度研究		
学会・社会における活動	(1) 文部省教科用図書調査検定審議会調査員 (1994) (2) 大蔵省税関研修所講師 (1994) (3) 長崎県弁護士会懲戒委員会委員 (1992 から 2001)		
教育上の業績	(1) 証券取引法のテキスト作成 (証券取引法 (学陽書房、初版 1990、改訂版 1994)) (2) 商法のテキスト作成 (現代商法 (中央経済社、初版 1992、第 6 版 2001))		
主な研究業績	(1) 「公開買付規制の適用除外条項について—市場法の視点から—」経営と経済 72 巻 2 号 53 頁以下 (1992) (2) 「改正公開買付規制について—市場法の視点から—」堀口亘先生退官記念論文集現代会社法・証券取引法の展開 371 頁以下 (経済法令研究会、1993) (3) 「自己株式取得にかかる証券取引法の改正について—公開買付規制の整備—」経理情報 730 号 4 頁以下 (1994) (4) 「日本ユニシス株相場操縦事件の検討」商事法務 1378 号 2 頁以下 (1995) (5) 「トラッキング・ストックの意義と問題点」ビジネス法務 2001 年 6 月号 65 頁以下		

氏名	高橋義郎	欧文名	TAKAHASHI, Yoshiro
所属講座	金融システム講座		
職名	教授		
主要な学歴および職歴	(1) 一橋大学商学部卒業 (1962) (2) 日本電気株式会社入社 (1962) (3) 米国 Wharton Graduate School 留学 (1970-1971) (4) 日本ライセンス協会会長 (非常勤) (1989-1991) (5) 日本電気株式会社退社 (1988) (6) 長崎大学経済学部教授 (1988-現在)		
学位	(1) 商学士 (一橋大学、1962)		
平成13年度担当科目 (学部)	(1) 知的財産法 (2) 知的財産法 (夜間主) (3) 現代経済法概論 (4) 演習「現代経済法」		
平成13年度担当科目 (大学院)	(1) 企業法特講 (2) 演習「知的財産権と独禁法」		
専門分野	(1) 知的財産法 (2) 経済法		
所属学会・協会	(1) 日本著作権学会 (2) 日本ライセンス協会		
現在の研究テーマ	(1) 技術と経済と法の相互作用		
学会・社会における活動	(1) 日本ライセンス協会より功労表彰 (1991) (2) (社) 発明協会より関東地方発明表彰で奨励功労賞受賞 (1995) (3) 長崎県屋外広告物審議会委員 (1999—)		
教育上の業績	(1) 特許庁の発展途上国特許庁職員教育講師「(1991-1999) (2) 特許庁の ASEAN 諸国弁護士、民間企業要員教育講師 (1994-1995) (5) 特許庁の APEC 諸国知的財産要員育成教育講師 (1996-1999) (6) 発明協会、工業所有権セミナー「知的財産権の新展開とライセンス」講師 (1994) (7) 発明協会、知的所有権研修「契約と独占禁止法」講師 (1997) (8) 長崎市北公民館講座講師 (1998、1999) (9) 長崎大学経済学部公開講座講師 (1999、2000・2回、2001-予定)、		
主な研究業績	(1) 『知的財産社会はどうか』(単著)、「技術と経済」1986.3 (社) 科学技術と経済の会 (2) 「デジタル革新とプログラムのリバースエンジニアリング」(単独) 1994.1 第二東京弁護士会コンピュータ法制研究会で発表 (3) 『マルチメディアの調和的発展をめざす4つのルール』(単独)、「マルチメディア技術の現状と将来動向」1995.2、マルチメディア著作権連絡協議会 (4) 「企業におけるライセンス動向と課題」(単独) 1997.1 第二東京弁護士会知的財産研究会、1997.3 東京弁護士会知的財産研究会無体財産法部会		

氏名	立山 柚彦	欧文名	TATEYAMA, Somahiko
所属講座	企業行動・意思決定講座		
職名	教授		
主要な学歴および職歴	(1)長崎大学経済学部卒業(1967) (2)大阪市立大学大学院経済学研究科修士課程修了(1973) (3)大阪市立大学大学院経営学研究科博士課程単位取得退学(1977) (4)長崎大学商科短期大学部講師(1977) (5)長崎大学商科短期大学部教授(1989) (6)長崎大学経済学部教授(1997)		
学位	(1)経済学修士		
平成13年度担当科目(学部)	(1)企業論 (2)企業論(夜間主) (3)演習「アジア企業論」 (4)演習「日米欧における企業・産業再編」(夜間主)		
平成13年度担当科目(大学院)	(1)アジア企業論特講		
専門分野	(1)現代企業論 (2)アジア経済論		
所属学会・協会	(1)日本経営学会 (2)比較経営学会 (3)アジア経営学会 (4)アジア政経学会 (5)南アジア学会		
現在の研究テーマ	(1)インド経済の自由化と公企業部門改革 (2)アジア諸国における工業化の主体としての公企業・大財閥・多国籍企業の構造と行動,現地国政府の発展戦略,先進資本主義国政府・国際機関の現地国政府に及ぼす影響にかんする比較研究。 (3)産業・金融再編と日本の企業集団の行方		
学会・社会における活動			
教育上の業績	(1)次の公開講座に講師として参加:「世界経済の最新動向」「現代経営Ⅱ」(1999年度)、「現代経営」(2000年度)。		
主な研究業績	(1)「インドにおける経済自由化と公企業部門改革(上)(中)」『経営と経済』第77巻1号(1997年6月),第80巻4号(2001年3月)。 (2)「インドにおける企業体制の転機と政府の役割」『比較経営学会研究年報』第24号(1999年)。 (3)「インド公企業における収益性と社会経済的目的,低価格政策,および経営上の諸問題(1)(2)(3)(4)」『経営と経済』第72巻1号(1992年6月),第72巻3号(1992年12月),第72巻4号(1993年3月),第74巻1号(1994年6月)。 (4)「外国資本」伊藤正二編著『インドの工業化(岐路に立つハイコスト経済)』アジア経済研究所,1988年。 (5)「ドラッカーの理論と「経営者支配」(1)(2)(3)」『経営と経済』第60巻4号(1981年3月),第71巻1号(1991年6月),第71巻2号(1991年9月)。		

氏名	藤野哲也	欧文名	FUJINO, Tetsuya
所属講座	企業行動・意思決定講座		
職名	教授		
主要な学歴および職歴	(1) 一橋大学社会学部卒業(1975) (2) 石川島播磨重工業(株)入社(1975) (3) 石川島ブラジル造船所(株)企画課長(1984) (4) 石川島播磨重工業(株)国際金融グループ課長(1990) (5) 長崎大学経済学部学部助教授(1994) (6) 長崎大学経済学部学部教授(1996)		
学位	(1) 社会学士(一橋大学, 1975)		
平成13年度担当科目(学部)	(1) 日本企業論 (2) 現代経営概論 (3) 演習「日本企業論・比較経営論」		
平成13年度担当科目(大学院)	(1) 比較経営特講(企業経営モデル)		
専門分野	(1) 比較経営論 (2) 日本企業論		
所属学会・協会	(1)日本経営学会 (2)組織学会 (3)国際ビジネス研究学会 (4)日本経営教育学会 (5)実践経営学会 (6)多国籍企業研究会		
現在の研究テーマ	(1) グローバリゼーションの進展と日本の企業システム (2) 連結経営の実態調査(文部省科学研究費・基盤研究、1999・2000年度)		
学会・社会における活動	(1) 東洋経済新報社『第4回 高橋亀吉賞』受賞(1987) (2) (社)日本経営協会『第20回 経営科学研究奨励金』授与(1988) (3) 実践経営学会『学術研究奨励賞』受賞(1998) (4) Daiwa Anglo-Japanese Foundation・講演(ロンドン、1998) (5) EU大学院・国際シンポジウム報告(フィレンツェ、1998) (6) 日本経営教育学会・第40回全国研究大会 統一論題報告(1999) (7) 日経連・国際特別委員会ワーキンググループ主査(1999~2000) (8) ジェトロ・貿易・投資リスク研究会委員(2000~)		
教育上の業績	(1) 文部省・カリキュラム改革調査研究「マネジメント・ゲーム導入による演習形式の経営学授業実施」(1997) (2) 公開講座「グローバリゼーションとは何か」開催(2000)		
主な研究業績	(1) 『比較経営論…ソトに出た日本型経営と欧米多国籍企業…』千倉書房(1995) (2) 『グローバリゼーションの進展と連結経営』文眞堂(1998) (3) 『日本経済の競争力と国際化』(編著)ミネルヴァ書房(2000) (4) “How Japanese Companies Have Globalized?”, <i>Management Japan</i> , Vol.31 No.2(1998年10月) (5) 「リージョナリゼーションと海外事業の統括軸」、『Business Research』No.903(1999年9月)		

氏名	池谷 浩之輔	欧文名	IKEYA, Konosuke
所属講座	企業行動・意思決定		
職名	教授		
主要な学歴および職歴	(1)慶應義塾大学経済学部卒業（1980） (2)早稲田大学大学院社会科学研究科博士課程前期修了（2001） (3)通商産業省機械情報産業局計量行政室長（1994） (4)中小企業庁調査課長（1996） (5)ハーバード大学（米国）国際問題研究所客員研究員（1997） (6)通商産業省大臣官房調査統計部統計解析課長（1998）		
学位	(1)経済学士（慶應義塾大学、1980） (2)修士（学術）（早稲田大学、2001）		
平成13年度担当科目（学部）	(1)中小企業論（昼間及び夜間主） (2)演習「中小企業論」（現代中小企業・ベンチャー企業研究） (3)入門ゼミ		
平成13年度担当科目（大学院）	(1)中小企業論特講		
専門分野	(1)経営学（中小企業） (2)企業統計		
所属学会・協会	(1)日本ベンチャー学会		
現在の研究テーマ	(1)中小企業のマクロ動態 (2)企業の競争力に係る統計的接近		
学会・社会における活動	(1)創業・ベンチャー国民フォーラム九州・沖縄地方活性化委員会委員 (2)九州地域経済動向懇談会委員（九州経済産業局） (3)長崎大学産学連携コーディネーター		
教育上の業績			
主な研究業績	(1)『中小企業白書』（1997） (2)『Small Business in Japan』（1997） (3)「Japanese Small Business in a Changing Business Environment : A Comparison with The United States」 HARVARD University（1998） (4)『通商白書』（1981,1982） (5)「ASEANにおける電気機械工業の調達・販売構造と裾野産業の展望」（長崎大学東南アジア研究年報、2001）		

氏名	相原基大	欧文名	AIHARA, Motohiro
所属講座	企業行動・意思決定講座		
職名	講師		
主要な学歴および職歴	(1) 北海学園大学経済学部経営学科卒業(1996) (2) 北海道大学大学院経済学研究科修士課程修了(1998) (3) 北海道大学大学院経済学研究科博士後期課程修了(2001)		
学位	(1) 経営学修士(北海道大学, 1998) (2) 博士(経営学)(北海道大学, 2001)		
平成13年度担当科目(学部)	(1) 経営戦略論(昼および夜間主) (2) 入門演習 (3) 演習「経営戦略論」		
平成13年度担当科目(大学院)			
専門分野	(1) 経営戦略論 (2) 組織論		
所属学会・協会	(1) 組織学会 (2) 日本ベンチャー学会 (3) 日本生産管理学会 (4) オフィス・オートメーション学会 (5) 実践経営学会 (6) Strategic Management Society		
現在の研究テーマ	(1) 企業の境界と成果の専有可能性 (2) 中小企業のイノベーション		
学会・社会における活動			
教育上の業績			
主な研究業績	(1) 企業の境界デザイン, 経済学研究(北海道大学), 第48巻3号, 1999. (2) 競争戦略, 境界デザイン, および競争優位, 実践経営, 第37号, 2000. (3) 地域企業の境界デザインとイノベーションに関する実証研究, 生産管理, 第7巻2号, 2001. (4) 北海道の中小企業における情報化の現状・課題・展望, オフィス・オートメーション, 第18巻2号, 1997. (寺本義也, 石田修一との共同研究)		

氏名	Celia Lopez Umali	欧文名	
所属講座	Firm Behavior and Decision Making		
職名	Associate Professor		
主要な学歴および職歴	(1) Masters in Management, University of the Philippines, 1982 (2) Doctors in Economics, Nagoya University, 1992 (3) Board of Director, Mabitac Rural Bank, Philippines, 1982-1984 (4) Research Associate, SEA Regional Center for Graduate Studies in Agriculture, 1978-84 (5) Researcher, United Nations Center for Regional Development, 1990-94 (6) Associate Professor, Faculty of Economics, Nagasaki University, 1994 to date		
学位	(1) Doctor in Economics, Nagoya University, Japan, 1992		
平成13年度担当科目(学部)	(1) International Business Management (2) Asian Economics and Business Environment		
平成13年度担当科目(大学)	(1) International Agribusiness Management		
専門分野	(1) International Business Management (2) Agribusiness and Development		
所属学会・協会	(1) Agribusiness Society		
現在の研究テーマ	(1) Technology Transfer in Agribusiness (2) Comparative Trading Systems in Agriculture		
学会・社会における活動	(1) Special Lecture, Amarantz Club, Nagasaki, 1995 (2) Special Lecture, Nagasaki Community, 2000 (3) Special Lecture, University of the Philippines, 2001 (4) Special Lecture (2000) and Part-time lecturer, 1999-date, Nagasaki College of Foreign Languages		
教育上の業績	(1) Use of case method in Masters program		
主な研究業績	(1) Balanced Agroindustrial Development to Strengthen Regional Economies, Regional Development Dialogue, UNCRD, Vol. 1, Winter 1994/1995. (2) Locational Behavior of Firms in a Borderless Era, Keiei to Keizai, Vol. 75, no.3.4, 1996 (3) Telecommunication Deregulation Strategies in Asia (co-author), Economics of Global Telecommunications and the Internet, Monograph, Nagasaki University, 1977 (4) Decentralization of Direct Investments in Philippines and Thailand, Keiei to Keizai, Vol. 77, 1977 (5) Environmental Regulations and Innovation in Firms, Keiei to Keizai, Vol. 78., 1998		

氏名	小山 久美子	欧文名	KOYAMA, Kumiko
所属講座	企業行動・意思決定講座		
職名	助教授		
主要な学歴および職歴	(1)明治大学大学院経済学研究科博士前期課程修了(1993) (2)明治大学大学院経営学研究科博士後期課程単位取得退学(1998) (3)明治大学経営学部非常勤講師(1998) (4)長崎大学経済学部講師(1999) (5)長崎大学経済学部助教授(2000)		
学位	(1)経済学修士 (明治大学,1993)		
平成13年度担当科目(学部)	(1)経営史 (2)経営史(夜間主) (3)演習「経営史」		
平成13年度担当科目(大学院)	(1)経営史特講		
専門分野	(1)経営史 (2)経済史		
所属学会・協会	(1)経営史学会 (2)社会経済史学会 (3)アメリカ学会 (4)アメリカ経済史研究会		
現在の研究テーマ	(1)9世紀後半-20世紀前半米国関税法に関する経営史・経済史的研究		
学会・社会における活動			
教育上の業績			
主な研究業績	(1)国製造業者連盟(NAM)に関する考察(「経営史学」1996) (2)スムート・ホーリー法成立に関する再解釈(「社会経済史学」1998) (3)フォードニー・マッカーバー法からスムート・ホーリー法へ(「経営と経済」1999) (4)1934年互惠通商協定法成立(「経営と経済」2001)		

氏名	東條 正	欧文名	TOJO,Tadashi
所属講座	企業行動・意思決定講座		
職名	助教授		
主要な学歴および職歴	(1)九州大学大学院経済学研究科博士前期課程修了 (2)長崎大学経済学部助手 (3)長崎大学経済学部講師 (4)長崎大学経済学部助教授		
学位	(1)経済学修士（九州大学）		
平成13年度担当科目（学部）	(1)日本経営史（夜間主） (2)経営学A（全学教育） (3)演習「日本経営史」		
平成13年度担当科目（大学院）	(1)日本経営史特講		
専門分野	(1)日本経営史		
所属学会・協会	(1)経営史学会 (2)社会経済史学会		
現在の研究テーマ	(1)明治期における鉄道企業の資金調達について (2)三菱財閥の有価証券投資活動について		
学会・社会における活動	(1)経営史学会幹事 (2)経営史学会評議員 (3)経営史学会学会誌編集委員 (4)福岡県史編纂		
教育上の業績			
主な研究業績	(1)「明治期における三菱の株式・債券投資活動と経営多角化」『経営と経済』第80巻第4号、2001年。 (2)「戦前期の北部九州における電気軌道・鉄道業と電灯・電力業」『経営と経済』第74巻第4号、1995年。 (3)『福岡県史 近代史料編 筑豊興業鉄道（二）』1989年。 (4)「九州鉄道会社改革運動の初期段階に見る明治期鉄道企業の経営者と株主」『経営と経済』第66巻第3号、1986年。 (5)「明治期鉄道会社の経営紛争と株主の動向」『経営史学』19巻4号、1985年。		

氏名	杉原敏夫	欧文名	SUGIHARA, Toshio
所属講座	企業行動・意思決定講座		
職名	教授		
主要な学歴および職歴	(1) 京都大学理学部物理学科卒業（1968） (2) 京都大学大学院理学研究科物理第一専攻修士課程修了（1970） (3) 富士通株式会社入社（1971）、同退社（1975） (4) 産業能率大学システム開発研究所入職（1980）、同退職（1987） (5) 大阪短期大学経営情報学科教授（1987） (6) 長崎大学経済学部教授（1987）、		
学位	(1) 理学修士（京都大学、1970） (2) 博士（経済学）、（九州大学、1997）		
平成13年度担当科目（学部）	(1) 経営情報システム論 (2) 統計学（全学教育） (3) 演習「経営情報と意思決定」		
平成13年度担当科目（大学院）	(1) 経営情報分析 (2) ワークショップ担当（企業経営モデル）		
専門分野	(1) 経営情報分析 (2) 経営情報システム		
所属学会・協会	(1) 日本OR学会 (2) 日本経営工学会 (3) 日本経営情報学会 (4) ロジスティックス・システム学会 (5) 日本経済学会 (6) 西日本理論経済学会		
現在の研究テーマ	(1) 多変量制御理論によるロジスティックス・システム最適化 (2) 情報システムの経営戦略への展開		
学会・社会における活動	(1) 長崎市行政改革審議会委員長（1996～） (2) （社）岡山中央総合情報公社審議会委員（1987～） (3) 長崎県商工会広域化問題検討委員会委員長（1999～2000） (4) 全国能率連盟優秀論文賞受賞（1984）		
教育上の業績	(1) 教育用多変量解析パッケージ開発（1995） (2) 公開講座「現代経営」（2000、2001）		
主な研究業績	(1) 著書「適応的モデルによる経済時系列分析」工学図書（1996） (2) 著書（共著）「経営情報システム」共立出版（1997） (3) “An Adaptive Demand-Forecasting Approach using Data-mining Technique”, Proc.5-th International Symposium of Logistics（2000） (4) 論文「経営戦略面から見た情報システムの方向と評価」名古屋市立大学経済学会・オイコノミカ、Vol.35、（1999） (5) 論文「経済時系列への拡張型カルマン・フィルタの適用」西日本理論経済学会誌、Vol.16、（1997）		

氏名	丸山幸宏	欧文名	MARUYAMA, Yukihiro
所属講座	企業行動・意思決定講座		
職名	教授		
主要な学歴および職歴	(1) 九州大学大学院理学研究科博士後期課程単位取得満期退学(1990) (2) 長崎大学教養部講師 (数学) (1990) (3) 長崎大学教養部助教授 (数学) (1992) (4) 長崎大学経済学部助教授 (意思決定論) (1997) (5) 長崎大学経済学部教授 (意思決定論, 現在に至る) (1999) (6) メルボルン大学客員研究員 (数学・統計学科) (2000)		
学位	(1) 理学修士 (新潟大学, 1984) (2) 博士 (数理学) (九州大学, 2000)		
平成13年度担当科目 (学部)	(1) 数理計画法 (2) 基礎ゼミ (3) 演習 I 「数理計画法の応用」		
平成13年度担当科目 (大学院)	(1) 数理計画法特講		
専門分野	(1) 計画数学		
所属学会・協会	(1) 日本数学会 (2) 日本オペレーションズ・リサーチ学会 (3) 日本ロジスティクスシステム学会 (4) 日本数理科学協会 (5) 統計科学研究会		
現在の研究テーマ	(1) 結合型最適経路問題の解法 (2) 両的計画による離散最適化問題の解法		
学会・社会における活動	(1) 日本ロジスティクスシステム学会理事 (1998)		
教育上の業績			
主な研究業績	(1) Y.Maruyama, Second-order necessary conditions for nonlinear optimization problems in Banach spaces and their application to an optimal control problem, Mathematics of Operations Research, Vol.15(1990), pp 467-482 (2) Y.Maruyama, On shortest and longest path problems, Optimization, Vol.38(1996), pp 287-299. (3) Y.Maruyama, A duality theorem in multiobjective routing problems with associative path costs, 1999, In Wataru Takahashi and Tamaki Tanaka(Eds.) Nonlinear Analysis and Convex Analysis, Proceedings of the International Conference, World Scientific Publishers. (4) Y.Maruyama, On a negative-equivalency theorem in associative optimal path problems, Optimization, Vol.48 (2000), pp137-155 (5) Y.Maruyama, Duality theorems in parametric associative optimal path problems, Asia-Pacific Journal of Operations Research, Vol.17 (2000), pp149-168		

氏名	村田嘉弘	欧文名	MURATA, Yoshihiro
所属講座	企業行動・意思決定講座		
職名	教授		
主要な学歴および職歴	(1)東京大学理学部数学科卒業(1980) (2)東京都立大学大学院理学研究科数学専攻修士課程修了(1982) (3)東京都立大学大学院理学研究科数学専攻博士課程単位取得退学(1986) (4)東京大学大学院大学院研究生(1986～1989) (5)長崎大学経済学部講師(1989) (6)長崎大学経済学部助教授(1990)		
学位	(1)理学修士(東京都立大学、1982) (2)理学博士(東京大学、1988)		
平成13年度担当科目(学部)	(1)応用数理 (2)入門ゼミ(夜間主) (3)演習「情報化社会研究」		
平成13年度担当科目(大学院)	(1)応用数理特講 (2)情報・統計学		
専門分野	(1)数学(非線形可積分系)		
所属学会・協会	(1)日本数学会		
現在の研究テーマ	(1)反自己双対ヤン・ミルズ方程式の退化とパンルベ方程式 (2)擬エルミート多様体上の場の理論の構築		
学会・社会における活動	(1)長崎商工会議所にて講演(1996) (2)Nagoya Mathematical Journal のレフェリー(1996～2000) (3)Funkcialaj Ekvacioj のレフェリー(2001)		
教育上の業績	(1)総合情報処理センターの手引書作成(1995) (2)長崎大学経済学部公開講座開催予定(2001)		
主な研究業績	(1) Rational Solutions of the Second and the Fourth Painleve Equations, Funkcialaj Ekvacioj, Vol.28, No.1 (1985), 1-32. (2) On Fixed and Movable Singularities of Systems of Rational Differential Equations of Order n , Journal of the Faculty of Science, Univ. of Tokyo, Sec. IA, Vol.35, No.3 (1988), 439-506. (3) The Picard Type Theorem for Essential Singularities of Solutions of Systems of n Rational Differential Equations, Journal of Differential Equations, Vol.82, No.1 (1989), 174-190. (4) 「Self-Dual Yang-Mills 方程式の Reduction」, 京都大学数理解析研究所講究録 822 (1993), 132-143. (5) Classical Solutions of the Third Painleve Equation, Nagoya Mathematical Journal, Vol.139 (1995), 37-65.		

氏名	鈴木 斉	欧文名	SUZUKI, Hitoshi
所属講座	企業行動意思決定講座		
職名	講師		
主要な学歴および職歴	(1) 豊橋技術科学大学工学部卒業 (1994) (2) 豊橋技術科学大学大学院工学部知識情報専攻修士課程修了 (1996) (3) 富士通愛知エンジニアリング入社 (1996)、同退社 (1997) (4) 科学技術振興事業団出向研究員 (1997～1998) (5) 長崎大学経済学部助手 (1998) (6) 長崎大学経済学部講師 (2001)		
学位	(1) 修士 (工学) (豊橋技術科学大学, 1996)		
平成13年度担当科目 (学部)	(1) 情報処理演習 (2) 情報科学概論 (夜間主) (3) 入門ゼミ (4) 経営情報処理		
平成13年度担当科目 (大学院)			
専門分野	(1) 情報システム学 (2) 計算機科学		
所属学会・協会	(1) 土木学会		
現在の研究テーマ	(1) ネットワーク利用アプリケーションにおけるセキュリティ検証 (2) コンピュータネットワークを利用する利用者のセキュリティ意識向上		
学会・社会における活動	(1) (財) エイ・エフ・エス日本協会長崎支部支部長 (2001～)		
教育上の業績	(1) 「IT時代に勝ち残る」公開講座開催 (2001)		
主な研究業績	(1) E-mail クライアントの受動的攻撃に対する強度検証支援システム 国立大学センター情報システム研究会 (2000) (2) 受動的攻撃の危険性と防衛対策 経営と経済 (2000) (3) メールサーバを作る qmail 編 BSD magazine (2000) (4) メールにおける信頼性 長崎大学総合情報処理センター (1999) (5) OpenBSD BSD magazine (1999)		

氏名	藤村 丞	欧文名	FUJIMURA Shou
所属講座	企業行動・意思決定講座		
職名	助手		
主要な学歴および職歴	(1)福岡大学 理学部 応用数学科 卒業(1996) (2)福岡大学大学院 理学研究科 応用数学専攻 博士課程前期 修了(1998) (3)福岡大学大学院 理学研究科 応用数学専攻 博士課程後期 中退(1999) (4)長崎大学 経済学部 総合経済学科 助手(1999)		
学位	(1)修士(理学) (福岡大学, 1998)		
平成13年度担当科目 (学部)	(1)情報処理演習(全学教育)		
平成13年度担当科目 (大学院)			
専門分野	(1)ネットワーク管理		
所属学会・協会	(1)情報処理学会 (2)人文科学とコンピュータ研究会		
現在の研究テーマ	(1)パスカル全データベース作成と言語解析 (2)デジタルアーカイブの運用方法		
学会・社会における活動			
教育上の業績			
主な研究業績	(1)パスカル全データベース作成と言語解析(I) (情報処理学会, 情報研報, Vol97, No.108, 1997) (2)パスカル全データベース作成と言語解析(II) (情報処理学会, 情報研報, Vol98, No.97, 1998) (3) パスカル全データベース作成と言語解析「言語・認識・表現」, 印刷中(共著:白石 修二, 輪田 裕, 柴田 勝征) (4) パスカルデータベースシステム, 「人文科学とデータベース」(共著: 白石 修二) 2000年12月 (5) Toward the Establishment of Pascal Digital Archive, submitting(共著:白石 修二)		

氏名	笠原 俊彦	欧文名	KASAHARA, TOSHIHIKO
所属講座	経営管理・企業会計講座		
職名	教授		
主要な学歴および職歴	(1) 一橋大学商学部卒業（昭和 39 年 3 月） (2) 同 大学院商学研究科（修士課程）入学（昭和 41 年 4 月） (3) 同 修了(商学修士)(昭和 43 年 3 月) (4) 同 (博士課程) 入学（昭和 43 年 4 月） (5) 同 単位取得退学(昭和 46 年 3 月) (6) 商学博士（一橋大学、商第 16 号）（昭和 58 年 12 月）		
学位	(1) 商学修士（一橋大学、昭和 43 年） (2) 商学博士（一橋大学、昭和 58 年）		
平成 13 年度担当科目（学部）	(1) 経営学（昼間） (2) 経営学（夜間）		
平成 13 年度担当科目（大学院）	(1) 経営学		
専門分野	(1) 経営学原理 (2) 経営学史		
所属学会・協会	(1) 日本経営学会 (2) 経営学史学会		
現在の研究テーマ	(1) 企業と人間の進化 (2) 企業の営利と倫理（M. Weber、H. Ford など）		
学会・社会における活動			
教育上の業績			
主な研究業績	(1) 技術論的経営学の特質（千倉書房、昭和 58 年） (2) 企業と進化の問題（松山大学論集、第 10 巻第 3 号、平成 10 年） (3) 「理想型」による認識と経営経済学の学派分類（一） （松山大学論集、第 2 巻第 5 号、平成 12 年） (4) ポパーの進化の理論と価値の問題 （松山大学論集、第 4 巻第 5 号、平成 4 年） (5) M. ヴェーバーの「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」（一） （経営と経済、第 81 巻 1 号、平成 13 年）		

氏名	高岡伸行	欧文名	TAKAOKA, Nobyuki
所属講座	経営管理・企業会計講座		
職名	助教授		
主要な学歴および職歴	(1)和歌山大学経済学部卒業（1992） (2)和歌山大学大学院経済学研究科修士課程修了（1994） (3)日本学術振興会 特別研究員（1997.4-1998.3） (4)名古屋大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学（1998） (5)長崎大学経済学部講師（1998） (6)長崎大学経済学部助教授（2000）		
学位	(1)経済学修士（和歌山大学，1994） (2)博士（経済学），（名古屋大学，2000）		
平成13年度担当科目（学部）	(1)経営学 (2)経営組織論 (3)基礎ゼミ (4)演習「企業と社会論」		
平成13年度担当科目（大学院）	(1)経営組織論特講		
専門分野	(1)経営学 (2)企業環境論		
所属学会・協会	(1)日本経営学会 (2)組織学会 (3)経営行動研究学会 (4)日本NPO学会		
現在の研究テーマ	(1)社会貢献型企業のモデル化に関する研究 (2)企業とNPOの組織編成原則の比較研究		
学会・社会における活動			
教育上の業績	(1)名古屋大学98年度社会人講師講義（1999）		
主な研究業績	(1)『企業環境行動の構造とパースペクティブ』（学位論文）2000年 (2)「企業環境行動におけるサステナビリティ概念の位相」、『経営と経済』，79（1），1999年 (3)「環境マネジメントシステムの統合軸」日本経営学会編『経営学論集第67集』千倉書房，1997年 (4)「企業評価団体のネットワーク」『経営行動研究年報』，6号，1997年 (5)「企業環境主義のメタ構造」『組織科学』，30（1），1996		

氏名	菅家正瑞	欧文名	KANKE, Masamitsu
所属講座	経営管理・企業会計講座		
職名	教授		
主要な学歴および職歴	(1)福島大学経済学部卒業(1967) (2)(株)東邦銀行入社(1967)、同退職(1968) (3)一橋大学大学院商学研究科修士課程修了(1973) (4)長崎大学経済学部助手(1973) (5)長崎大学経済学部講師(1974) (6)長崎大学経済学部助教授(1978)		
学位	(1)商学修士(一橋大学, 1973) (2)博士(経済学)(東北大学, 1994)		
平成13年度担当科目(学部)	(1)経営管理論 (2)演習「経営管理論」		
平成13年度担当科目(大学院)	企業管理特講		
専門分野	経営管理論		
所属学会・協会	(1)日本経営学会 (2)経営学史学会 (3)九州経済学会		
現在の研究テーマ	環境管理の経営学的研究		
学会・社会における活動	(1)長崎労働局地方職業安定審議会会長(2001～2003) (2)長崎労働局長崎雇用安定・創出対策協議会会長(2000～2001) (3)長崎県職業能力開発審議会委員(2001～2003) (4)長崎県長期構想検討委員会会長(1998～2000)		
教育上の業績	(1)経営学のテキスト作成(『現代企業の経営学』(共著)、八千代出版、1995) (2)講義録の監修(長崎大学経済学部社会人講師団、『長崎から21世紀への提言』、長崎大学経済学部、1992)		
主な研究業績	(1)『企業管理論の構造』、千倉書房、1992。 (2)『企業政策論の展開』、千倉書房、1988。 (3)『法と企業経営』(共著)、税務経理協会、1981。 (4)「企業環境と企業行動－シュテーターの所論を中心として－」、長崎大学経済学会『経営と経済』、第80巻第3号、2000。 (5)「環境管理の成立」、同上、第77巻第3号、1997。		

氏名	三原泰熙	欧文名	MIHARA, Yasuhiro
所属講座	経営管理・企業会計講座		
職名	教授		
主要な学歴および職歴	(1)神戸大学経営学部卒業(1962) (2)神戸大学大学院経営学研究科修士課程修了(1964) (3)神戸大学大学院経営学研究科博士課程単位取得退学(1967) (4)長崎大学経済学部講師(1967) (5)長崎大学経済学部助教授(1971) (6)長崎大学経済学部教授(1980)		
学位	(1)経営学修士(1964)		
平成13年度担当科目(学部)	(1)労務管理論(昼間、夜間主) (2)現代経営概論(夜間主)、入門ゼミ(昼間) (3)演習「経営労務論」(昼間、夜間主)		
平成13年度担当科目(大学院)	(1)人的資源管理特講		
専門分野	(1)経営学・経営労務論		
所属学会・協会	(1)日本経営学会 (2)日本労務学会 (3)労務理論学会 (4)アジア経営学会 (5)九州経済学会 (6)IRRA(アメリカ労使関係学会)		
現在の研究テーマ	(1)技能の形成と継承 (2)雇用形態の多様化と能力開発		
学会・社会における活動	(1)長崎地方最低賃金審議会委員 (2)長崎地方労働基準審議会会長 (3)長崎機会均等調停委員会委員		
教育上の業績	(1)公開講座開催(1986)		
主な研究業績	(1)「機械加工職場の技能形成－重機・重電の場合－」小池和男編著『現代の人材形成』(ミネルヴァ書房、1986年)所収 (2)「流動的労働市場と人材形成－シンガポールの日系企業の事例から－」『東南アジア研究年報』第32集(1990年) (3)「日本の教育・訓練管理」佐護譽・安春植編『労務管理の日韓比較』(有斐閣、1993年)所収 (4)「シンガポール日系企業の人材形成」三原泰熙・内田滋編『日系企業と東南アジアの経済発展』(中央経済社、1993年)所収 (5)「人材開発－日本企業の教育訓練の現状と課題－」奥林康司編著『現代の企業システム－経営と労働－』(税務経理協会、2000年)所収		

氏名	福田 正巳	欧文名	FUKUDA、masami
所属講座	経営管理・企業会計		
職名	教授		
主要な学歴および職歴	(1)東北大学工学部卒業 (1979) (2) (株) 東芝入社 (1979) (3)TIMエレクトロニクス社 (マレーシア) 出向 (1993-97) (4) (株) 東芝退社、長崎大学経済学部教授 (2000)		
学位			
平成13年度担当科目 (学部)	(1)現代経営概論 (2)生産管理論 (3)演習「生産管理論」		
平成13年度担当科目 (大学院)	(1)生産管理特講		
専門分野	(1)生産システム・生産管理		
所属学会・協会			
現在の研究テーマ	(1)生産と技術移転 (2)生産システムとヒューマンウェア		
学会・社会における活動	(1)通信機械工業会委員 (1989-92)		
教育上の業績			
主な研究業績	(1)感熱ファクシミリCP7700の開発 (東芝レビュー: 公刊) 年月調査中 (2)普通紙ファクシミリCP9500の開発 (東芝レビュー) (3)レーザー記録ファクシミリTF850の開発 (東芝レビュー) (4)特許 第1968443号「ファクシミリ装置」1995年9月18日登録 (5)特許 第2528448号「ファクシミリ装置」1996年6月14日登録		

氏名	福川裕徳	欧文名	FUKUKAWA, Hironori
所属講座	経営管理・企業会計講座		
職名	助教授		
主要な学歴および職歴	(1)一橋大学商学部卒業(1994) (2)一橋大学大学院商学研究科修士課程修了(1996) (3)一橋大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学(1999) (4)長崎大学経済学部講師(1999) (5)長崎大学経済学部助教授(2001)		
学位	(1)修士(商学)(一橋大学, 1996)		
平成13年度担当科目(学部)	(1)簿記 (2)演習「財務会計論」		
平成13年度担当科目(大学院)	(1)経営・会計学		
専門分野	(1)会計学 (2)監査論		
所属学会・協会	(1)日本会計研究学会 (2)日本監査研究学会 (3)日本簿記学会 (4)アメリカ会計学会		
現在の研究テーマ	(1)コーポレート・ガバナンスにおける監査人の役割 (2)監査が保証する財務諸表の信頼性		
学会・社会における活動			
教育上の業績			
主な研究業績	(1)「監査における会計基準と監査人の判断」『一橋論叢』第118巻第5号, 118-135頁, 1997年. (2)「ゴーイング・コンサーン監査と『真実かつ公正な概観』」『企業会計』第50巻第8号, 124-130頁, 1998年. (3)「イギリスにおける監査人のコーポレート・ガバナンスへの関与」『経営と経済』(長崎大学経済学会), 第79巻第3号, 79-109頁, 1999年. (4)「アメリカ監査報告実務における説明区分の意義ーゴーイング・コンサーン問題および訴訟に関する未確定事項にかかる説明区分を題材としてー」『産業経理』第60巻第4号, 66-74頁, 2001年.		

氏名	上野 清貴	欧文名	UENO, Kiyotaka
所属講座	経営管理・企業会計講座		
職名	教授		
主要な学歴および職歴	(1) 中央大学商学部卒業(1973) (2) 中央大学大学院商学研究科博士前期課程修了(1977) (3) 神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程単位取得退学(1980) (4) 九州産業大学経営学部講師(1980) (5) 九州産業大学経営学部助教授(1986) (6) 九州産業大学経営学部教授(1992)		
学位	(1) 商学修士 (中央大学,1977) (2) 博士 (経済学) (九州大学,1995)		
平成13年度担当科目 (学部)	(1) 財務会計論 (2) 財務会計論 (夜間主) (3) 演習「財務会計論」		
平成13年度担当科目 (大学院)	(1) 財務会計特講 (2) 演習「財務会計論」 (3) ワークショップ (第2履修モデル)		
専門分野	(1) 財務会計		
所属学会・協会	(1) 日本会計研究学会 (2) 日本簿記学会 (3) 会計理論学会		
現在の研究テーマ	(1) 時価会計論		
学会・社会における活動	(1) 日本公認会計士協会学術賞受賞(1994) (2) 税理士試験委員(2001-)		
教育上の業績	(1) 簿記のテキスト作成(1993)		
主な研究業績	(1) 『企業利益測定の理論』同文館(1991) (2) 『企業利益測定の構造』同文館(1993) (3) 『会計利益概念論』同文館(1995) (4) 『会計の論理構造』税務経理協会(1998) (5) 『キャッシュ・フロー会計論』創成社(2001)		

氏名	近藤隆史	欧文名	KONDO Takahito
所属講座	経営管理・企業会計講座		
職名	文部科学教官 講師		
主要な学歴および職歴	(1)平成8年 松山大学経営学部卒業(1996) (2)平成8年 神戸大学大学院経営学研究科博士前期課程入学(1996) (3)平成10年 神戸大学大学院経営学研究科博士前期課程修了(1998) (4)平成10年 神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程入学(1998) (5)平成13年 神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程修了(2001)		
学位	(1)経営学修士 (神戸大学、1998) (2)経営学博士 (神戸大学、2001)		
平成13年度 担当科目 (学部)	(1)入門ゼミ (夜間) (2)原価計算論		
平成13年度 担当科目 (大学院)			
専門分野	(1)管理会計論 (2)原価計算論		
所属学会・協会	(1)日本原価計算研究学会		
現在の研究テーマ	(1)戦略の実施とマネジメント・コントロール (2)製品開発と管理会計の役割		
学会・社会における活動			
教育上の業績			
主な研究業績	(1)「原価企画とインタラクティブ・コントロール」神戸大学経営学研究科博士課程モノグラフシリーズ (2000) (2)「原価企画活動の相互作用的側面」神戸大学経営学研究科六甲台論集 (2000) (3)「原価企画活動におけるプロダクト・マネジャーの役割」企業会計 (2000) (4)「原価企画でのプロダクト・マネジャーの意味づけ」神戸大学経営学研究科六甲台論集 (2000) (5)「システム分化からみるプロダクト・マネジャーの原価企画における役割の考察」神戸大学経営学研究科博士論文 (2001)		

氏名	今田正	欧文名	IMADA, TADASHI
所属講座	経営管理・企業会計講座		
職名	教授		
主要な学歴および職歴	(1) 長崎大学経済学部卒業 (1964) (2) 大阪市立大学大学院修士課程修了 (1968) (3) 長崎大学商業短期大学部助手 (1968) (4) 長崎大学商業短期大学部教授 (1984) (5) 長崎大学商業短期大学部部長 (1992) (6) 長崎大学経済学部教授 (1997)		
学位	(1) 経営学修士 (大阪市立大学, 1968)		
平成13年度担当科目 (学部)	(1) 会計制度論 (2) 演習「会計制度論」		
平成13年度担当科目 (大学院)	(1) 会計制度論特講 (2) 演習「会計制度論」		
専門分野	(1) 会計学		
所属学会・協会	(1) 日本会計研究学会 (2) 国際会計研究学会 (3) 日本原価計算研究学会 (4) 九州経済学会 (5) American Accounting Association (6) 企業会計制度研究会		
現在の研究テーマ	(1) 金融商品会計—公正価値会計の研究		
学会・社会における活動	(1) 日本会計研究学会, スタディ・グループ「会計における将来予測要素の導入・拡大の研究」プロジェクト(1996年～1998年) (2) 長崎衛生公社改善検討委員会会長(2000年4月～同年10月) 長崎県市町村職員共済組合監事(1990年～現在)		
教育上の業績	(1) 簿記テキスト『簿記テキスト』(共著, 1996年), 同増補改訂版(2000年) (2) 財務会計テキスト『財務会計論』(共著, 1998年) (3) 公開講座『現代経営 I, II』(1999年, 2000年)		
主な研究業績	(1) 『企業連結会計』(単著, 1988年) (2) 『近代会計学の発展』共著, 1974年) (3) 『ペイトン研究』(共著, 1978年) (4) 『現代の会計』(共著, 1984年) (5) 『将来事象会計』(共著, 2000年)		

氏名	岡田 裕正	欧文名	OKADA, Hiromasa
所属講座	経営管理・企業会計講座		
職名	助教授		
主要な学歴および職歴	(1) 九州大学経済学部卒業(1983) (2) 九州大学大学院経済学研究科修士課程修了(1985) (3) 九州大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学(1988) (4) 日本学術振興会特別研究員(1988～1989) (5) 長崎大学経済学部学部講師(1989) (6) 長崎大学経済学部助教授(1991)		
学位	(1) 経済学修士(九州大学, 1985)		
平成13年度担当科目(学部)	(1) 現代会計学 (2) 簿記(夜間主) (3) 演習「会計学」		
平成13年度担当科目(大学院)	(1) 現代会計学特講		
専門分野	(1) 財務会計論		
所属学会・協会	(1) 日本会計研究学会 (2) 会計理論学会 (3) 日本管理会計学会 (4) 日本原価計算学会 (5) 九州経済学会		
現在の研究テーマ	(1) 資産負債アプローチと収益費用アプローチの損益計算構造		
学会・社会における活動	(1) 日本会計研究学会九州部会長崎大学幹事(2000年～現在に至る)		
教育上の業績	(1) 簿記テキスト共編著(1993年) (2) 長崎大学公開講座「グローバル化とは何だろうか」(2000年)		
主な研究業績	(1) 「計算構造から見たアメリカにおける会計原則等の分類」経営と経済(長崎大学経済学会)、1999 (2) 「資産負債中心主義と収益費用中心主義」経営と経済(長崎大学経済学会)、1991 (3) 「FASB 概念ステートメントにおける損益の認識」会計理論学会年報、(会計理論学会)、1991 (4) 「有価証券時価評価の計算構造および期間配分についての一考察」東南アジア研究年報(長崎大学東南アジア研究所)、2001 (5) 『利益会計の基礎』(共編著)同文館、1993		

氏名	津留崎 和義	欧文名	TSURUSAKI, Kazuyoshi
所属講座	経営管理・企業会計講座		
職名	講師		
主要な学歴および職歴	(1) 九州大学経済学部卒業 (1994) (2) 九州大学大学院経済学研究科修士課程修了 (1998) (3) 九州大学大学院経済学研究科博士課程修了 (2001) (4) 日本学術振興会特別研究員 (2000.1～2001.3)		
学位	(1) 修士 (経済学) (九州大学, 1998) (2) 博士 (経済学) (九州大学, 2001)		
平成13年度担当科目 (学部)	(1) OR (昼間) (2) OR (夜間主) (3) 演習「動的計画と決定過程」		
平成13年度担当科目 (大学院)			
専門分野	(1) 動的計画 (2) 意思決定		
所属学会・協会	(1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会 (2) 九州経済学会		
現在の研究テーマ	(1) 多段意思決定過程とその評価系 (2) 不変埋没原理による動的計画の理論と応用		
学会・社会における活動	(1) 日本OR学会「統合オペレーション」特別研究プロジェクト 特設G6:「統合オペレーションにおける情報共有」研究グループ		
教育上の業績			
主な研究業績	(1) 多段決定過程: 加法型評価系, 児玉・岩本編『マルチメディア環境と経済学』, 九州大学出版会, pp.181-204, 1996 (共著). (2) Conditional Decision-making in Fuzzy Environment, <i>Journal of Operations Research Society of Japan</i> , Vol.42, No.2, pp.198-218, 1999 (Co-author). (3) 極値排除和基準の下での意思決定, 九州経済学会年報第38集, pp.25-31, 2000. (4) Extrema-trimmed Sum in Decision Problem, <i>Proceedings of International Workshop on Intelligent Systems Resolutions; The 8th Bellman Continuum</i> , pp.2-6, 2000. (5) On Markov Policies for Minimax Decision Processes, <i>Journal of Mathematical Analysis and Applications</i> , Vol.253, pp.58-78, 2001 (Co-author).		

